

平成25年1月30日

東日本大震災における広島大学の対応について

第36回学長定例記者会見（平成24年12月26日）以降、広島大学が対応した内容を下記のとおり報告いたします。（詳細は、大学HPをご覧ください。）

本学は、地震により被災された皆様に対して、引き続き、できうる限りの支援を行う所存です。

記

1. 医療活動支援関係について

(1) 「三次被ばく医療機関」としての広島大学の活動について

○ 緊急被ばく医療チームを編成し、福島県へ連続派遣。

平成23年3月12日（土）第1班を派遣し、平成25年1月21日（月）現在までに37班、延べ1,321人を派遣しています。

基本チーム構成は、医師2人（うち1人は救急医）、診療放射線技師1人、看護師1人、事務職員2人の計6人で、第13班（平成23年4月28日出発）以降は一旦、3人体制としましたが、第19班（平成23年5月20日出発）から3～11人体制とし、一時帰宅に伴うスクリーニングに対応するとともに、平成23年7月からは福島第一原発内に設置の「救急医療室」への救急医の派遣も行っており、平成23年11月からは、看護師も順次派遣しています。

(2) 広島大学病院での被災者医療支援関係

○ 内部被ばく特別検診

予約制によりホールボディカウンタを使用した内部被ばく特別検診を実施しています。

平成23年8月1日から平成23年12月19日まで、毎週月曜日午後実施し、その後、機器の性能向上のための整備を行うため休止していましたが、整備作業終了後、平成24年11月20日から再開、毎週火曜日午後実施しています。

※ 平成25年1月22日（火）までの総受診者数 73人

【本件に関するお問い合わせ先】

財務・総務室 総務グループリーダー 山根  
TEL：082-424-6011 FAX：082-424-6020